

2021年度活動報告書

(2021年4月～2022年6月)

Greeting

ご挨拶

日頃から私どもの活動に対してご支援・ご協力くださり、心より厚く御礼を申し上げます。
おかげさまで、2021年度(第8期)も安定した活動を継続的に行うことができました。

コロナ感染症防止対策の強化により小児病棟からの外出や付き添い交代を制限された
付き添いご家族への支援の必要性和重要性はコロナ禍が長引くほどに高まっています。
20年10月にスタートした「付き添い生活応援パック無償配布事業」は21年度の主軸事業となり、
年間を通じて毎週2回、全国の付き添い家族へ応援パックを発送し続けてまいりました。

この支援を必要とする方にもれなく届けられるように医療機関への広報協力を依頼し、
医療スタッフの皆さんがチラシを貼ってくださったり直接お声がけくださったりしたことで、
21年度末には累積2600個の応援パックをお届けすることができました。
応援パックに対する満足度は高く、受け取った方からの紹介でこの事業を知る人も増えています。
この事業にさまざまな形で協賛して下さる企業様に、あらためまして深謝申し上げます。

この課題を広く社会に知っていただき、付き添い環境の改善につながる活動にも注力し、
21年度の新たな取り組みとしては6週間にわたる啓発キャンペーンを展開しました。
また、聖路加国際大学と共同で「付き添い家族の実態調査」の中間報告も公表しました。

コロナ禍3年目を迎え、以前にも増して厳しい付き添い環境の中で過ごさねばならない
ご家族の支えとなれますよう、その声に耳を傾け、スタッフ一同力を合わせて活動してまいります。
本年度も変わらぬご支援・ご指導を賜りますことを心からお願い申し上げます。

理事長 光原ゆき・スタッフ一同



momsmile.jp



キープ・ママ・スマイリング
Keep Moms Smiling!

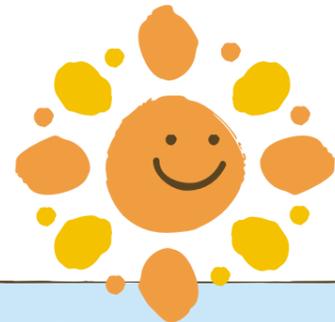
Event

イベント・活動一覧 (2021年4月~2022年6月)

食支援と物品支援を中心とした定期活動のほか、単発活動にも注力。一連の支援活動が評価され、患者団体支援プログラムの大賞を受賞。



実施月	イベント・活動一覧	応援バック配布数	ミール提供数	
2021年度	4月	● JAMMIN(ジャミン)×KMSオリジナルデザイン チャリティー商品販売 ● 中央区補助事業「お弁当deスマイリング」開始	102	85
	5月	● 「Smiling Moms Daysキャンペーン」開催(5月9日~6月20日) ● クラウドファンディング「応援バックを届けて、子どもの長期入院に付き添うお母さんを笑顔に!」実施	127	94
	6月	● インスタライブ、オンラインシンポジウム開催	175	102
	7月	● Yahoo! 基金助成事業「付き添い生活サポートプラス」パイロット事業開始	93	98
	8月	● 東京医科歯科大学病院にクラファン返礼品「リターンを医療者へ寄付」をお届け	137	98
	9月	● 寄付金：小児がんチャリティライブ「Remember Girl's Power」 ● EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」、第4回PASE AWARD大賞受賞 ● 助成金：「フェリシモたすけあい基金」決定	89	98
	10月	● 寄付金：「MUFG SOUL~熱い想いを社会のチカラに~」 ● イオン幸せの黄色いレシート開始@イオンモール幕張新都心(毎月11日) ● 聖路加国際大学小児看護学共同調査 「入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査」定量調査結果公表	95	94
	11月	● 日本ファンドレイジング協会ファンドレイジング・スクール第6期のケース団体に選出	114	106
	12月	● 佐賀県CSO(市民社会組織)としてふるさと納税対象団体に認定 ● お弁当deスマイリングin佐賀大学医学部附属病院こどもセンター開始(12月24日)	80	155
	1月	● ドナルド・マクドナルド・ハウスせたがやにおせちミールを提供	97	111
	2月	● 国際小児がんデー神奈川県立こども医療センター小児がんセンター特設サイト「みんなで知ろう、小児がんのこと」(2月15日~3月31日開設)に出席	85	109
	3月	● 「付き添い生活応援バック無償配布事業」の対象拡大を決定。 全国500病院にポスターとチラシを送付	61	104
2022年度	4月	● 助成金：公益財団法人キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」決定 ● 助成金：日本財団・日本歯科医師会「TOOTH FAIRY」決定 ● 助成金：市民社会創造ファンド「タケダ・ウェルビーイング・プログラム2022」決定	202	106
	5月	● 「Smiling Family Daysキャンペーン」開催(5月8日~6月19日) ● オンラインセミナー、オンラインシンポジウム開催 ● クラウドファンディング「付き添い家族を応援するクチコミサイトをみんなで作りたい!」実施	190	110
	6月	● トークショー&ミニライブ開催 ● 市民啓発イベント&患者支援団体交流会開催 ● キッチンカーdeスマイリングin神奈川県立こども医療センター(6月6,10,13,20日) ● フードドライブ@イオンモール幕張新都心(6月11,12日)	168	113



Meal de Smiling

「食」で支援! ミールdeスマイリング事業

地域の飲食店と協働し「お弁当」の形で手作り食の提供を再開。佐賀でも地域連携型の新しい食支援の仕組みをスタートしました。



「お弁当deスマイリング」in東京

コロナ禍によりボランティアによる手作り食の提供は自粛し、代わりにおいしく安全に召し上がっていただけるよう地域の飲食店様(16店舗)と協働し、お弁当の定期配布を始めました。2021年度は聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院の各小児病棟、ドナルド・マクドナルド・ハウスせたがや/ふちゅうの付き添い家族に総計770食をお届けしました。お弁当に季節のお菓子を添えるなど楽しんでもらえる工夫も凝らし、担当スタッフが毎月心を込めて準備しました。

22年度は、つばめグリル様より「ハンブルグステーキお弁当」を定期的にご提供いただけることになりました。また、西松建設様から毎月レタスをご寄付いただくなど、この活動にも多くの企業様にご支援くださっています。「うちでもやってみよう」との声が各地の患者支援団体からも上がっており、私たちが一つのモデルケースにお弁当を届ける活動が広がっていくことを願っています。



東京のお弁当お届けチームです!



「お弁当deスマイリング」in佐賀

2019年からオリジナル缶詰を配布してきた佐賀大学医学部附属病院で、お子さんの入院に付き添うご家族に、地域の力を結集して手作りのお弁当を届ける新たな取り組みをスタートしました。地元農家から提供された食材を用いて、株式会社ディアーズ・ブレインが市内で運営する結婚式場「アクアデビュー佐賀スイートテラス」のシェフが3段重ねの豪華なお弁当に調製し、佐賀大学OBの任意団体である「ノギ」の学生ボランティアと当団体の佐賀スタッフが小児病棟まで運んでいます。21年度は総計57食を付き添いのご家族にお届けし、22年度も季節の行事に因んだ「ハレの日」のお弁当を年4回お届けする計画です。

子どもたちは治療を終えれば必ず地域に帰っていきます。そのとき、安心して暮らしていくためには、地域の人たちの理解や応援が何よりも大切になります。この活動を通して地域で病気の子どもの家族を支えるモデルを作り上げていくことを目指しています。



佐賀大学の学生たちが届けます!



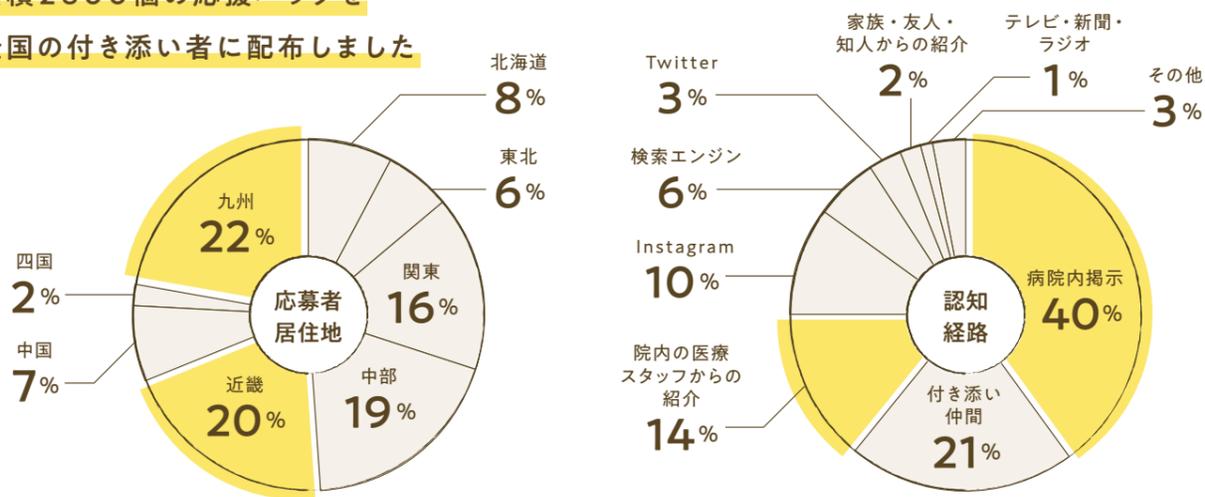
Support Goods

付き添い生活応援パック無償配布事業

小児病棟の感染防止対策の強化により外出や交代を制限された付き添い家族を支援する「付き添い生活応援パック」の配布は、全国の小児病棟の協力のもと拡大しています。

累積2600個の応援パックを

全国の付き添い者に配布しました



2021年度は全国の1257家族に応援パックをお配りし、配布数は累積2600個になりました。応募は北海道から沖縄まで全都道府県からいただきましたが、最も多かったのは九州地区、次いで近畿地区でした。

全国500の主要病院小児病棟にチラシの掲示や配布協力を依頼した効果により認知経路の半数以上が病院内掲示、医療スタッフからの紹介です。配布数が増え、友人からの紹介・クチコミも増加傾向にあります。

受け取ったご家族からの声

受益者の満足度アンケート調査も高評価です。ご家族の声を一部抜粋してご紹介します。



品物がただ詰められているだけでなく、食品の食べ方のメモや応援メッセージが添えられていることに、お会いしたこともない方々から、こんなにも応援してもらっているのだと感じることができました。子どもの治療を最優先する中、自分(親)のことを気にかけてくださっていることが嬉しかったです。

付き添い生活は経験しないとわからないと思いますが、応援パックを受け取って経験のある先輩たちが温かく支えてくださっていると感じました。付き添い中に欲しいもので溢れていて、「そう、ソレ!」と声に出してしまいました。一つひとつの品物から付き添いママを想ってくれていることが伝わってきました。

たくさんの品物が詰まった箱を開けながら、久しぶりに心がワクワクしました。親だから子どものために頑張るのは当然だと思っていますが、それでも付き添いが長期化すると疲れてきます。親が嬉しくなる品物も入っていたことに、寄り添ってもらっていることを身近に感じ、涙が出ました。

付き添いの自分の物は必要最低限しか用意しませんでした。しかし、長期間の付き添いには「気分が上がる品物」も大切だということに、応援パックをもらって初めて気がつきました。応援パックに入っていたハーブティーを飲んで、「今日もまた頑張ろう」と気分を上げることが、毎朝の日課になりました。

応援パックの応募者が多い主な病院

応援パックの応募者がお子さんの入院に付き添っていた病院数は235病院(2022年3月末時点)で、配布数が多い上位20病院で全体配布数の44%を占めました。半数以上の病院では配布数が5以下となっており、医療機

関への周知徹底を強化していく必要性を感じています。22年度も支援が必要な方々に速やかにお届けできるよう、対象となる方が入院と同時にこの支援を知るための働きかけを全国の主要病院に継続的に行ってまいります。

病院名	配布数	病院名	配布数
01 福岡市立こども病院	106	11 長野県立こども病院	35
02 ポバース記念病院	70	12 札幌医科大学附属病院	35
03 九州大学病院	63	13 国立成育医療研究センター病院	34
04 名古屋大学医学部附属病院	59	14 大阪大学医学部附属病院	33
05 大阪母子医療センター	51	15 旭川医科大学病院	32
06 広島大学病院	45	16 北海道大学病院	31
07 岡山大学病院	43	17 三重大学医学部附属病院	31
08 東北大学病院	40	18 北海道立子ども総合医療・療育センター	26
09 大阪市立総合医療センター	40	19 宮崎大学医学部附属病院	26
10 京都大学医学部附属病院	40	20 静岡てんかん・神経医療センター	25

集計期間：2020年10月～2022年3月末

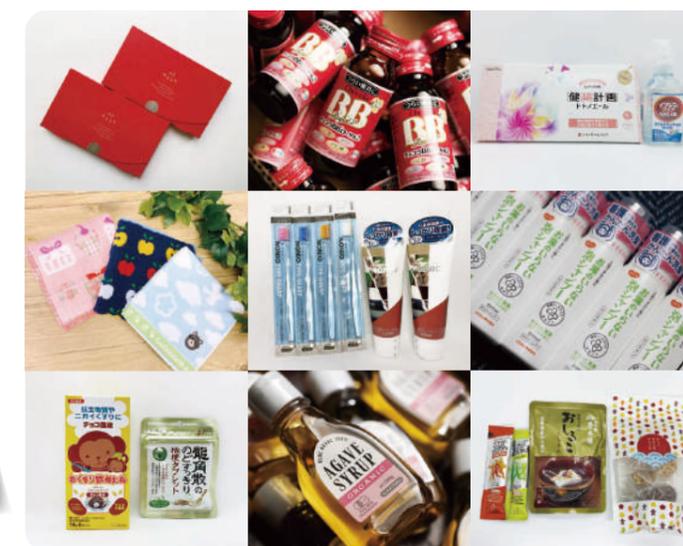
2021年度に新規または継続で協賛品を提供して下さった企業様

(敬称略)

株式会社アジュバンコスメジャパン	ライオン株式会社	マルハニチロ株式会社
株式会社アルマテラ	株式会社龍角散	ロート製薬株式会社
株式会社栄太樓總本舗	株式会社アリミノ	R.B.G株式会社
株式会社細田協佑社	牛乳石鹸共進社株式会社	シックスセンスラボ株式会社
エーザイ株式会社	サンスターグループ	シュバイツァー高橋株式会社
川辺株式会社	シオノギヘルスケア株式会社	株式会社mog
ビジョン株式会社	株式会社バスクリン	一般社団法人食品ロス・リボンセンター

付き添い経験のあるスタッフを中心に応援パックの品物を検討し、企業様にもご支援をお願いしています。おかげさまで協賛企業様は40社を超えました。付き添い中にあると嬉しい品物を常時20種類以上同梱しています。

付き添いに役立つ協賛品をありがとうございます！



Smiling Family Days

病気の子どもと家族みんなを応援する啓発キャンペーン

実施期間：2022年5月8日(母の日)～6月19日(父の日)

付き添い環境の改善を目指し、社会課題として認識してもらうための啓発を行いました。

キャンペーン特設サイト

キャンペーン特設サイトには、期間中のイベント情報をはじめ、募金箱やパンフレットを置いてくださった協力店・企業様(19店舗)の情報を掲載し、延べ1821名の閲覧がありました。

さらに、病児やそのご家族を支援する全国の患者・家族支援団体(58団体)の情報コーナーも設置しました。この団体情報を通して病気の子どもを育てるご家族が地域で支え合える仲間を見つけ、安心して暮らすことができるようになることを目的としました。団体情報をご覧になった付き添いの家族の皆さんには「初めての団体から馴染みのある団体まで、さまざまな団体を知ることができてよかった」と好評でした。

この団体情報は、22年9月にオープン予定の「付き添い家族のためのクチコミサイト」に移管し、引き続きご活用いただけるようにします。



オンラインセミナー&シンポジウム開催



NPO法人Your School共催イベント
「病気の子どもの学びをどうサポートする？」

病気の子どもを育てるご家族や周囲でサポートする方々に向けたオンラインセミナーを開催し、全国から約60名が参加しました。昭和大学大学院准教授の副島賢和さんを講師に迎え、病気の子どもの学びの意義や、親と病棟スタッフ・学校教師との協力体制などについて、ともに考える場となりました。(開催日：22年5月21日)



協働推進プロジェクト
「NPO・地域の力を活用して病気の子どもとその家族をもっと笑顔に！」

NPOとの協働をテーマにオンラインシンポジウムを開催し、医療関係者やNPO団体運営者を中心に全国から約100名が参加しました。成田赤十字病院の寺田和樹さんと聖路加国際病院の三浦絵莉子さんから事例が共有され、協働にかかわる課題を乗り越えるためのヒントについて話し合われました。(開催日：22年5月22日)



3年ぶりのリアルイベント開催



一青窈さんミニライブ
「音楽のチカラで病気の子どもと家族を笑顔に！」

北千住マルイで「医療的ケア児」と呼ばれるお子さんを育てる宮副和歩さんと加藤さくらさんのお話を聞くトークショーと歌手の一青窈さんのミニライブを開催しました。ライブでは、付き添い家族からのリクエスト曲を中心に歌声が披露され、小児病棟にいるお子さんや家族にもオンライン配信しました。(開催日：22年6月4日)



佐賀に九州北部の患者支援団体が集結！
「地域のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に！」

キャンペーン最終日には、九州北部で活動する患者・家族支援団体15団体が佐賀に集まり、啓発イベントと交流会を開催しました。佐賀大学医学部小児科教授の松尾宗明さんをゲストに迎え、病気の子どもとその家族が置かれている現状について語っていただき、地域の理解と協力を求めました。(開催日：22年6月19日)

決算報告

2021年度はクラウドファンディング、ふるさと納税の寄付に加え、マンスリーサポーター数が171人(21年3月末時点)と倍増し、受取寄付金額が対前年325%増となりました。22年度は新規事業としてウェブメディアの開設、付き添い白書の作成に取り組みます。

2021年度 活動計算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	科目	金額
経常収益	受取会費	1,213,000
	受取寄付金	23,130,948
	受取助成金等	2,734,000
	事業収益	329,568
	その他収益	455,847
	経常収益合計	27,863,363
経常費用	付き添い生活支援事業	16,111,893
	調査・普及啓発事業	626,534
	管理費	1,310,365
	経常費用合計	18,048,792
	経常増減額	9,814,571

2022年度 活動予算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	科目	金額
経常収益	受取会費	1,692,000
	受取寄付金	18,060,000
	受取助成金	10,190,000
	受取補助金	291,000
	事業収益	0
	経常収益合計	30,233,000
経常費用	付き添い生活支援事業	20,653,000
	調査・普及啓発事業	8,617,000
	管理費	6,154,462
	経常費用合計	35,424,462
	経常増減額	-5,191,462

メディア掲載・講演一覧

多くのメディアを通じて私たちが対峙する付き添いの現状と課題、取り組んでいる支援活動を広く社会に周知しました。引き続き、メディアとの連携・協力体制を強化していきます。

掲載月	メディア名	
2021年度	4月	●かわさきエフエム「森清華のLife is the journey」
	5月	●NHK Eテレ「すすく子育て」 ●NTTドコモ「マイマガジン」
	6月	●神戸新聞、四国新聞（共同通信）「子の入院付き添い、親の負担増」 ●渋谷のラジオ「渋谷の超福祉ラジオ」（出演）
	7月	●北海道新聞「子の付き添い入院 コロナ下で」 ●TBS News「娘を亡くした母が支える、コロナ禍のママたちの過酷な付き添い入院」
	8月	●札幌テレビ「どさんこワイド」
	11月	●全国地方紙11紙1面トップ（共同通信）「子が入院 親8割付き添い」 ●暮らしのグリーンサポートみなと公開講座（講演） ●東京中央新ロータリークラブ（講演）
	12月	●読売新聞「笑顔を守る～入院児家族の今」 ●NHK福岡放送局、FBS福岡放送「お弁当のクリスマスプレゼント」 ●佐賀新聞「入院付き添うママに豪華弁当 佐賀大病院でNPO贈る」 ●第7回ちやまちやキャンサーフォーラム 「集まれ! 患者会 がん患者を取り巻く生活環境」（出演）
	1月	●「心と社会」184号 時評「withコロナ時代の家族支援」（寄稿）
	2月	●西日本新聞 「入院中の子どもの付き添い家族にお弁当 NPOが佐賀大病院で」 ●éclat（エクラ）「社会をよくするために、私たちができること」
	3月	●Forbes JAPAN「新しい社会 構築の担い手 すぐれた非営利団体30選」 ●中央区立佃中学校食育セミナー（講演） ●東京山王ロータリークラブ（講演）
2022年度	5月	●J-Wave「JK RADIO TOKYO UNITED」（出演） ●月刊「小児看護」6月号 特別論稿「入院している子どもに付き添う家族への支援」（寄稿） ●日本経済新聞・地方紙（共同通信） 「付き添い入院の親支援 9月に口コミサイト」 ●東京新都心ロータリークラブ（講演）
	6月	●TOKYO MX「news TOKYO FLAG」 ●一般社団法人日本リユース機構総会（講演） ●日本経済新聞・地方紙（共同通信） 「病児の親に出来たて料理 横浜の病院にキッチンカー」



NHK Eテレ「すすく子育て」：活動を通して付き添い家族への支援の必要性を訴える。



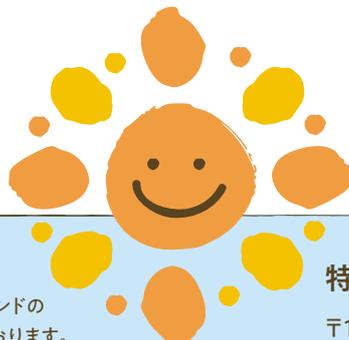
共同通信社：付き添い家族の実態調査に基づく記事が全国の地方紙11紙の1面トップに。



東京都中央区立佃中学校の食育セミナーで付き添い中の食事のありがたさと大切さを講演。



「Forbes JAPAN」5月号にて「新しい社会 構築の担い手 すぐれた非営利団体30選」に選出。



本冊子はザーネブランドの協力により制作しております。

特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング

〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4F

info@momsmile.jp <https://momsmile.jp>